※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　総合学科

教科	キャリア教育	科目	産業社会と人間	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	ワークシート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自己を探求し将来の生き方や進路を考え、職業選択に必要な能力・態度や他者との関わり方について学習します。また産業社会の変化や諸課題の問題解決を通し、調査・研究・発表といった自分の考えをまとめ伝えることが必要となるので、自ら考え主体的に行動することが重要になります。

２　学習の到達目標

・自己の資質・能力を認識し、職業人として必要な態度や勤労観を身に付ける。
・自己の在り方や生き方について考え、卒業後の進路や職業選択に必要な能力を高めるとともに職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養う。
・自己の進路について積極的に探究し、他者の意見を取り入れながら協働して授業に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	産業社会における自己の資質・能力を認識し、社会生活や職業生活について理解し、職業人として必要とされる態度や勤労観、職業観が身に付いている。	産業社会における自己の在り方や生き方、進路について考察し、適切な判断ができている。	産業社会における自己の在り方や生き方、進路について関心を持つことができている。自分の考えをまとめ積極的に発表し、また、人の発表を意欲や関心を持って聞くことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自己理解	・オリエンテーション ・自己理解「自分を見つめる」 ・自己理解「コミュニケーション・スキル」 ・科目選択ガイダンス（各教科の体験授業）	a:自分を正しく理解し、他者との繋がりの大切さを理解できる。 b:産業社会における自己の在り方や生き方、進路について考察し、適切な判断ができる。 c:自己の探求や自己の発見に積極的に取組んでいる。	○	○	○
2学期	職業理解	・特別講和 ・調べ学習 （調査・まとめ・発表） ・社会人マナー ・科目選択ガイダンス（各教科の体験授業）	a:職業についての調査を通じて、正しい勤労観や職業観が身に付けている。 b: 職業の種類や特色について理解し、進路について考察できている c: 職業についての調査や分析、発表準備を積極的に進めている。	○	○	○
3学期	社会理解	・特別講和 ・調べ学習 （調査・まとめ・発表） ・科目選択ガイダンス（各教科の体験授業）	a:産業社会の変化や特徴を捉え課題を発見することができる。 b: 自分や他者の意見や考えをふまえて分かりやすくまとめることができる。 c:他者と協力しながら調査やまとめ、発表に積極的に取り組んでいる。	○	○	○

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度